

※詳しくは☎にお問い合わせください。

高額医療・高額介護合算療養費の申請が始まります

☎健康生活課国保年金係 ☎ 63-1327
健康生活課高齢者医療係 ☎ 63-1420
高齢者支援課介護保険係 ☎ 63-1418

高額医療・高額介護合算療養費制度とは、医療保険と介護保険の自己負担額を合算し、世帯の限度額（年単位）を超えた金額が支給される制度です。

- 計算期間** 前年8月～ことし7月の12カ月間
- 支給対象となる世帯** 医療保険と介護保険のどちらにも自己負担額があり、世帯の限度額を超えた金額が500円より大きくなる世帯
※期間内に亡くなった人の代理申請もできます。
- 合算される医療保険**
介護保険を利用した人と同じ医療保険
※異なる医療保険の場合は合算されません。
- 計算されない自己負担の経費**
 - ①入院・入所時の食費・部屋代・日常生活品費
 - ②介護保険での福祉用具購入費・住宅改修費
 - ③要介護状態区分別の支給限度額を超えて介護サービスを利用したときの自己負担額
 - ④70歳未満の人の医療費のうち、入院・外来・調剤、それぞれ月額で21,000円未満の自己負担額
- 申請窓口** 介護保険を利用した人が7月31日に加入している医療保険の窓口

●申請の窓口

加入している医療保険	申請に関すること
国民健康保険 健康生活課 国保年金係 ☎ 63-1327	対象世帯には申請書を送りますので、内容に従って申請してください。
後期高齢者医療 健康生活課 高齢者医療係 ☎ 63-1420	
その他の医療保険 各医療保険の窓口にお問い合わせください。	各医療保険窓口での申請には「介護保険自己負担額証明書」を添える必要があります。介護保険係で証明書の交付申請を行ってください。 【介護保険自己負担額証明書の交付申請に必要なもの】 ①印鑑（認印可） ②預金通帳 ③医療保険の被保険者証 ④介護保険の被保険者証
介護保険自己負担額 については 高齢者支援課 介護保険係 ☎ 63-1418	

介護保険高額介護（介護予防）サービス費の申請

介護保険高額介護（介護予防）サービス費とは、介護サービスを利用して支払った1割（または2割）の自己負担額のうち、個人の限度額（月単位）を超えた金額が支給される制度です。介護保険要介護認定の結果通知を送るときに、申請のお知らせ（ピンク色）を同封しています。申請をしていない人は早めに申請してください。

☎高齢者支援課介護保険係 ☎ 63-1418

●申請に必要なもの

- ①印鑑（認印でも可）
- ②預金通帳
- ③介護保険の被保険者証

介護職向け就職・転職説明会（福岡）に出展します

☎政策企画課企画統計係 ☎ 63-1274

少子高齢化、人口減少の進行を抑制するため、移住定住の促進と、市内医療機関・介護施設などでの就労を支援する取り組みを実施しています。

**【介護職向け就職・転職説明会】
カイゴジョブフェスタ（福岡）**

- 日時** 12月10日(土) 午前11時30分～午後4時（受付は午前11時15分～午後3時45分）
- 場所** 福岡市博多区博多駅中央街1-1JR博多シティ9階 JR九州ホール



ひ市外知在ら住ーせのんを希望いぜの

- ※参加する医療・介護施設、会場へのアクセス方法などは、カイゴジョブフェスタのホームページでご確認ください。
- ※参加費は無料で、介護関連の資格を保有していない人や、学生も参加できます。年齢制限、学歴・職歴などの制限もありません。

家電リサイクル法により、対象品6品目を廃棄する時は事業者からの引き取りが必要です

☎環境保全課環境業務係 ☎ 63-1370

テレビ（液晶・プラズマ・ブラウン管）、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンはリサイクルが義務付けられていて、リサイクル料金がかかります。市の施設や荒尾リサイクルセンターでの引き取りができません。

●廃棄方法

- ①買い替えをする場合…買い替えるお店に引取りを依頼する
- ②処分する場合…廃棄する家電を購入した販売店に引き取りを依頼する
- ③処分する場合（個人で持ち込む場合）
手順1：郵便局で家電リサイクル券を購入する
手順2：廃棄家電にリサイクル券を貼り付ける
手順3：指定引き取り場所へ搬入する

◆指定引き取り場所

会社名	住所	電話番号
白石自動車（有）	大牟田市新開町3-48	0944-52-3366
久留米運送（株） 大牟田店	大牟田市四山町80-30	0944-57-2151
九州産交運輸（株）	上益城郡益城町平田字深迫2526	096-388-2731
熊本新明産業（株）	熊本市南区南高江3丁目3番53号	096-357-1773

※リサイクル料金は、各メーカーにより異なることがあります。各メーカーか（一財）家電製品協会家電リサイクル券センター（☎0120-319640）までお問い合わせください。
※持ち込みの際は、事前にお電話でご確認ください。

地域おこし協力隊 活動便り Vol.5

荒尾市地域おこし協力隊の4人の隊員は、最長3年の任期のもと、荒尾の魅力を知り、その魅力を伝え広げる活動を日々行っています。
毎月2人ずつ交代で主な活動内容や、活動予定を語ってもらいます。

◆白井恒良隊員（1月着任／広報担当）

6月の始めに、市民病院前の一小校区シンボル花壇に元気づくり委員会の人達とポーチュラカとマリーゴールドを植える活動をしてきました。草取りから始まり、花壇を耕し、花の苗をあわせて328本植えました。秋になり、そんなことはすっかり忘れていたのですが、先日、市民病院の前を通ったら、満開の花が咲いていました。地味でなかなか大変な作業ですが、やはり花が咲いているのを見ると格別な思いがあります。今後もそんな地域づくりや文化的な活動にスポットをあてて情報を発信していきたいと思いました。

荒尾の魅力、荒尾の情報をFacebook、Instagramで発信中



荒尾市地域おこし協力隊 Facebook



荒尾市地域おこし協力隊 Instagram



▲満開のポーチュラカ 撮影した写真をInstagramで発信しています



▲こうじをほぐすのは中腰で体力を使う作業です（右が前田隊員）

◆前田優隊員（3月着任／観光振興担当）

10月20日～22日の3日間、荒尾の特産品の折敷田味噌づくりを体験しました。最初の2日間で丸麦から麦こうじを作り、3日目は一般から募集した参加者と一緒に、味噌作りをしました。こうじに触れるのはもちろん、味噌作りも初めてです。濱崎京子さんを始め折敷田生活改善グループの皆さんに優しく教えていただき、とても楽しい体験ができました。チラシを作って配り14人もの人に参加いただけたのも良い経験でした。折敷田味噌は麦、大豆、塩、水のみを使ったシンプルでとてもおいしい味噌です。折敷田味噌づくりを受け継ぎ広める活動を続けていきたいです。